

メンターメンティー相談会報告

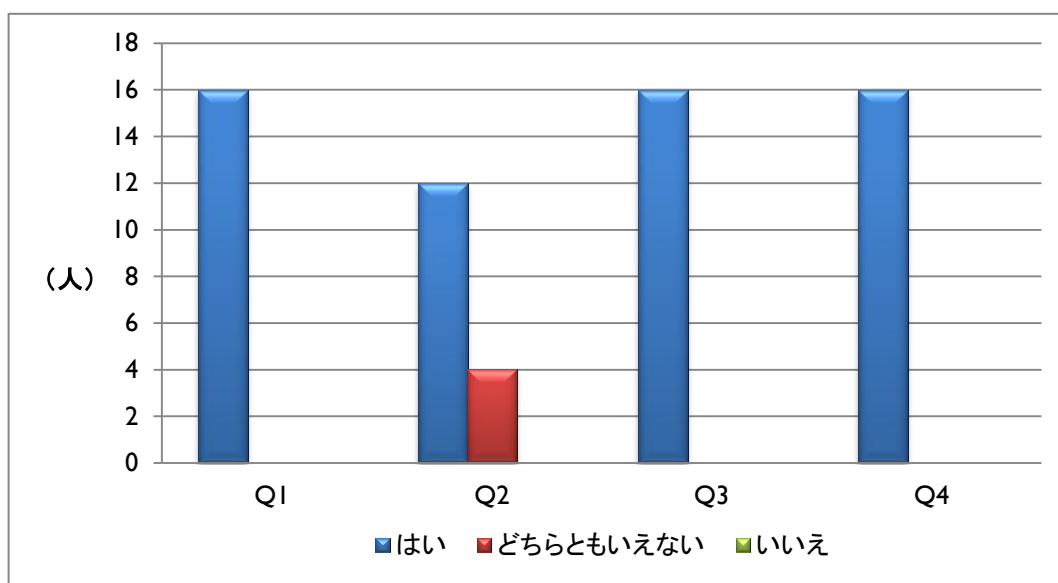
平成 27 年 4 月 9 日、形成外科学会総会にあわせて第 1 回メンターメンティー相談会を行いました。16 名のメンティーが 5 グループにわかれ、メンターとの間でさまざまな質問や相談があり、あっという間に 1 時間が過ぎました。参加したメンターへのアンケートとその結果は以下の通りです。

Q1 会に参加してよかったですか。

Q2 問題解決の糸口を見いだせましたか。

Q3 一緒のテーブルにいたメンティーの話から得たものはありますか。

Q4 このような会にまた参加したいと思いませんか。



会を終えて、メンターからの感想としては

- 他施設の悩みを認識、共有できた。
- 自由な意見交換ができ、大変有意義だった
- メンティーらから刺激を受けた。
- メンター、メンティのマッチングやメンティのグループわけが重要だと感じた(未婚者と既婚者では相談内容にずれがある、など)。
- 男性医師の参加をどのような形で増やしていくかが課題。

などの意見が出されました。

相談会で出された質問に対するメンティからの助言を一部抜粋して以下にご紹介します。

Q: 出産後の勤務は常勤、非常勤どちらにすべきか？常勤復帰しても他の医師に迷惑をかけるのではないかと不安です。

A: 希望があれば職場にはっきり伝えたほうがよいでしょう。他の医師に迷惑がかかるのではないかと不安については、職場で何等かの働き(例えば専門性を持ってその治療については自分自身が中心になるなど携わるなど同僚に「あなたがいて助かる」と思われる仕事をする)を示すことを考えるのもよいでしょう。

A: 迷惑をかけないようにと考えすぎないこと。既に「ある程度の迷惑はかけている」と認めたくえで職場に Benefit をどう与えるべきかを考えては？人がやっていなくて自分のできる仕事はないか探しましょう。専門的なことでなくても日曜の午前中勤務する、サマリーを担当する、など…。働き続けていつか恩返しをするという気持ちを持って働きましょう。

Q: 二人目を望むタイミングについて悩んでいます。

A: 専門医取得が遅れることはやむを得ないし、妊娠時期を決めることはさほど容易ではありません。子供ができたタイミングで考えればよいのです。大学院への進学に合わせる人もいます。

Q: 子供との関わり方について悩んでいます。今後は学校からの呼び出しに対応できるかや、成績のことも心配です。

A: 子供に手がかかるのは人生全体のなかで少しの期間です。子供と関わる時間は少なくとも、その内容を大切にしましょう。男性医師も同じことを考えています。

A: 習い事は子供が自分で行けるようになると楽になってきます。学校からの呼び出しは緊急の場合は優先してよいです。援助や支援の体制がある自治体もあるようです。

Q: 再建を専門にしたいが、どうすれば子育てと両立可能でしょうか？

A: 家族など周囲のサポートなしに再建の術者と乳幼児期子育てとの両立は難しいでしょう。夜間に仕事ができるのか、育児優先かを自分で選択したうえで周囲に支援を要請しましょう。例えば週に1度は手術日として夫に手助けしてもらっている例もあります。

Q: 今の環境に大きな不満はないが、今後環境を変えたいと思った時にどうすればよいか？

A: 家庭状況の必要性に応じて、環境を変えることは可能です。現時点での優先順位をきちんと決めたくえで、優先したい内容について自分から積極的に上司の理解を得ておきましょう。

Q: 留学のタイミングや心構えについてのアドバイスをお願いします。

A: どの時期でもやっていけます。海外では手取り足取り指導してもらえないとは限らないので、ある程度研究をやっているとその分苦勞が少ないでしょう。留学に際しては家族一緒に行くことを勧めます。留学前には語学の勉強もおきましょう。